

企画演題

第1日目 7月27日 (土)

大会長講演 10:00~10:30 (第1会場 図書館棟 大ホール)

PL 薬のリスク比較を極めよ～基礎を臨床につなぎ患者を守る～

座長：外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院)

演者：小茂田 昌代 (東京理科大学 薬学部 医療安全学研究室)

特別講演 10:30~11:30 (第1会場 図書館棟 大ホール)

DL 医療機器イノベーションとレギュラトリーサイエンス

座長：小茂田 昌代 (東京理科大学 薬学部 医療安全学研究室)

演者：松本 洋一郎 (東京理科大学)

教育講演1 16:00~17:00 (第2会場 講義棟 101教室)

**EL1 医薬品安全性学の実践のために薬剤師に何が求められるか？
－症例検討における病態解析力の必要性について－**

座長：佐藤 光利 (明治薬科大学 薬学部)

演者：宇野 勝次 (千葉科学大学 薬学部 / 株式会社アインファーマシーズ)

教育講演2 17:00~18:00 (第2会場 講義棟 101教室)

EL2 小児領域における医薬品の安全性について～抗菌薬を中心に～

座長：宇野 勝次 (千葉科学大学 薬学部 / 株式会社アインファーマシーズ)

演者：大石 智洋 (川崎医科大学 小児科学講座)

第1日目 7月27日 (土)

スポンサードシンポジウム1 12:50~15:05 (第1会場 図書館棟 大ホール)

JCIのMMU (Medication Management and Use) の取り組み

オーガナイザー兼座長：荒川 隆太郎 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部)

S1-1 藤田医科大学におけるJCI取得に向けた取り組み

山田 成樹 (藤田医科大学病院 薬剤部)

S1-2 JCI認証の取り組みは病院に何をもたらすのか～聖路加国際病院の場合～

後藤 一美 (聖路加国際病院 薬剤部)

S1-3 順天堂医院におけるJCIのMMUの取り組み

馬場 喜弓 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部)

パネリスト

川久保 孝 (東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部)

木村 利美 (東京女子医科大学病院 薬剤部)

西澤 健司 (東邦大学医療センター大森病院 薬剤部)

伊藤 忠明 (虎の門病院 薬剤部)

共催：東和薬品株式会社

シンポジウム2 12:50~15:05 (第2会場 講義棟 101教室)

大学教育における医薬品安全性学の取り組み

オーガナイザー兼座長：佐藤 光利 (明治薬科大学 薬学部 薬学教育研究センター
医薬品安全性学研究室)

中村 智徳 (慶應義塾大学 薬学部 医療薬学・社会連携センター
医療薬学部門)

S2-1 薬学教育における医療安全教育の取り組み

大林 恭子 (高崎健康福祉大学 薬学部)

S2-2 抗がん剤を題材として大学教育と臨床現場とのギャップを考える

河添 仁 (慶應義塾大学 薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門)

S2-3 大学教員における医薬品安全性学の取り組み

三輪 高市 (鈴鹿医療科学大学 薬学部)

S2-4 新潟薬科大学における医薬品の副作用とその対策に関する教育

小林 靖奈 (新潟薬科大学 薬学部 薬効安全性学研究室)

S2-5 医薬品副作用自発報告データベースJADERを用いた教育と研究

植沢 芳広 (明治薬科大学 薬学部 医療分子解析学研究室)

シンポジウム3 12:50~15:05 (第3会場 講義棟 102教室)

薬剤師の今後の果たすべき役割

～アカデミック・ディテリングのアプローチから～

オーガナイザー兼座長：後藤 恵子 (東京理科大学 薬学部)

宮崎 美子 (昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター)

- S3-1 薬剤師が社会において今後果たすべき役割について
関野 秀人 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課)
- S3-2 医薬品の適正使用に向けた **Academic Detailing**
ーリスク・ベネフィットコミュニケーションの観点からー
山本 美智子 (熊本大学大学院 生命科学研究部 (薬学系))
- S3-3 アカデミック・ディテリング：化学構造式からのアプローチ
和田 猛 (東京理科大学 薬学部)
- S3-4 中小病院におけるアカデミック・ディテリングの活用例
佐々木 優 (社会福祉法人ワゲン福祉会 総合相模更生病院 薬剤部)
-

国際シンポジウム4 16:00~18:00 (第1会場 図書館棟 大ホール)

Drug Safety in Critical Care

オーガナイザー兼座長：前田 幹広 (聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)

座長：室井 延之 (神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部)

- S4-1 日本の集中治療における薬剤師による薬物療法の安全確保への関与
今井 徹 (日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部)
- S4-2 **Drug Safety in Critical Care in the United States**
Eljim P. Tesoro (University of Illinois Hospital & Health Sciences System)
-

第1日目 7月27日 (土)

シンポジウム5 16:00~18:00 (第3会場 講義棟 102教室)

妊婦とくすりのリスク

オーガナイザー兼座長：中島 研 (独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 薬剤部)

S5-1 妊娠と薬・授乳と薬

中島 研 (独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 薬剤部)

S5-2 妊娠と薬の問題解決に向けた取組み

俵木 登美子 (一般社団法人 くすりの適正使用協議会)

S5-3 妊娠と薬のリスク

八鍬 奈穂 (国立成育医療研究センター 妊婦と薬情報センター)

S5-4 授乳と薬のリスク

刈込 博 (医療法人社団 クリタ会 聖カタリナ病院 薬剤部)

ワークショップ1 12:50~15:05 (第4会場 講義棟 201教室)

医薬品有害事例の臨床解析スキルを身に付ける (医薬品安全性学の実践)

オーガナイザー兼ファシリテーター：宇野 勝次 (千葉科学大学 薬学部 /

株式会社アインファーマシーズ)

チューター：八木 元広 (医療法人潤生会 脳神経センター阿賀野病院
薬剤科)

齊藤 幹央 (新潟薬科大学 薬学部臨床薬学研究室)

阿部 学 (新潟薬科大学 薬学部)

古川 智康 (新津医療センター病院 薬剤部)

第1日目 7月27日 (土)

ランチョンセミナー1 11:40~12:40 (第2会場 講義棟 101教室)

LS1 乳癌領域の分子標的薬副作用マネジメント

座長：岸本 有佳 (神奈川県立がんセンター 薬剤科)

演者：齊藤 光江 (順天堂大学 医学部 乳腺腫瘍学)

共催：日本化薬株式会社

ランチョンセミナー2 11:40~12:40 (第3会場 講義棟 102教室)

LS2 神経障害性疼痛の現状と新たな展開

座長：高橋 弘充 (東京医科歯科大学医学部附属病院 薬剤部)

演者：井関 雅子 (順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座)

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー3 11:40~12:40 (第5会場 講義棟 202教室)

LS3 がん化学療法を安全に行うための薬剤師の役割

座長：稲葉 健二郎 (総合相模更生病院 薬剤部)

演者：橋口 宏司 (横浜南共済病院 薬剤科)

共催：日本ケミファ株式会社

デザートセミナー 16:00~17:00 (第5会場 講義棟 202教室)

DS 増え続ける難病「潰瘍性大腸炎」 疾患と診断・治療のABC

座長：澁谷 智義 (順天堂大学 医学部 消化器内科)

演者：福生 有華 (順天堂大学医学部附属練馬病院 消化器内科)

共催：武田薬品工業株式会社

第2日目 7月28日(日)

教育講演3 9:00~10:10 (第1会場 図書館棟 大ホール)

EL3 腎機能低下患者へのハイリスク薬の適正使用

座長: 和泉 智 (医療法人仁真会 白鷺病院 医療技術部)

演者: 平田 純生 (熊本大学 大学院 生命科学研究部 (薬学系) 薬学部臨床薬理学分野)

教育講演4 10:20~11:30 (第1会場 図書館棟 大ホール)

EL4 循環器用薬の副作用マネジメント

座長: 継田 雅美 (新潟薬科大学 薬学部)

演者: 小林 賢滋 (大崎病院 東京ハートセンター 薬剤部)

スペシャリスト市民公開講座 13:00~14:00 (第1会場 図書館棟 大ホール)

OL1 女性の能力を職場に活かす

座長: 松本 和子 (東京理科大学 工学部)

演者: 松本 晃 (RIZAPグループ株式会社)

スペシャリスト市民公開講座 14:15~15:15 (第1会場 図書館棟 大ホール)

OL2 女性外科医パイオニアが語る「乳がんとの闘い」

座長: 小茂田 昌代 (東京理科大学 薬学部 医療安全学研究室)

演者: 齊藤 光江 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺科)

大会長企画シンポジウム6 9:00~11:30 (第2会場 講義棟 101教室)

産学官連携医薬品情報データプラットフォームを目指して
～基礎薬学とエビデンスからリスクを比較し患者を守る～

オーガナイザー兼座長：小茂田 昌代 (東京理科大学 薬学部 医療安全学研究室)
林 稔展 (福岡大学 薬学部 臨床薬学教室)

- S6-1 アカデミック・ディテリングの意義と基礎薬学データベース整備の重要性
小茂田 昌代 (東京理科大学 薬学部 医療安全学研究室)
- S6-2 効果的な薬学的介入を行うために必要な情報とは～がん領域における現状と課題～
林 稔展 (福岡大学 薬学部 臨床薬学教室)
- S6-3 医薬品の適正使用を進めるためのPMDAの取組み
—薬物動態・臨床薬理領域の活動を中心に—
石黒 昭博 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 レギュラトリーサイエンスセンター
研究支援・推進部 企画調整課・先端科学対策課)
- S6-4 薬物動態統合解析プラットフォームとデータベース：その臨床活用に向けて
水口 賢司 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
バイオインフォマティクスプロジェクト)
- S6-5 製薬企業くすり相談窓口における医薬品情報提供の今後
杉本 智香子 (大正製薬株式会社 学術研修センターメディカルインフォメーショングループ)
- S6-6 ゲノム配列情報の現状と活用
宮崎 智 (東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科)

共催：アカデミック・ディテリング・データベース部門

第2日目 7月28日(日)

シンポジウム7 9:00~11:30 (第3会場 講義棟 102教室)

さらに前進するJASDS認定研究会の役割

オーガナイザー兼座長：宇野 勝次 (千葉科学大学 薬学部/株式会社アインファーマシーズ)
外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院)

- S7-1 継往開来：新潟医薬品安全性研究会の歴史と展開
外山 聡 (新潟大学医歯学総合病院)
 - S7-2 広島医薬品安全性研究会の過去、現在、未来
鎌田 直博 (医療法人あかね会 土谷総合病院 薬剤部)
 - S7-3 岡山副作用研究会がめざす地域 RMP
高柳 和伸 (倉敷中央病院 薬剤部)
 - S7-4 「東京(関東)医薬品安全性研究会」設立と副作用対策支援
佐藤 光利 (明治薬科大学 薬学部)
 - S7-5 東北医薬品安全性研究会のご紹介
鈴木 映二 (東北医科薬科大学 医学部 精神科学)
-

シンポジウム8 13:00~15:15 (第2会場 講義棟 101教室)

医薬品リスク管理計画(RMP)活用のすすめ ~Living Documentとしての期待役割と活用のための課題~

オーガナイザー兼座長：岸 達生 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 関西支部)
大箸 義章 (中外製薬株式会社)

- S8-1 臨床現場におけるRMPの活用状況と課題
上野 清美 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部)
 - S8-2 病院でRMPが活用されるようになるためには
若林 進 (杏林大学医学部附属病院 薬剤部)
 - S8-3 医療現場におけるRMP活用の実際
鈴木 信也 (一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 薬局)
 - S8-4 RMPの作成プロセスとその応用
大箸 義章 (中外製薬株式会社)
-

第2日目 7月28日（日）

スポンサードシンポジウム9 13:00~15:15（第3会場 講義棟 102教室）

地域包括ケアにおける医療安全

オーガナイザー兼座長：杉浦 邦夫（一般社団法人 千葉県薬剤師会／豊四季ファーマシー）
鹿村 恵明（東京理科大学 薬学部）

- S9-1 薬機法改正と薬局・薬剤師の役割
武藤 正樹（国際医療福祉大学 大学院）
- S9-2 地域連携パスと医療安全
飯嶋 久志（一般社団法人 千葉県薬剤師会 薬事情報センター）
- S9-3 在宅医療の中で薬剤師として考える医療安全
杉山 宏之（一般社団法人 船橋薬剤師会／ヒロ薬局）

共催：バイエル薬品株式会社

ワークショップ2 9:00~11:30（第4会場 講義棟 201教室）

腎機能評価の基本とコツを考える実践ワークショップ

オーガナイザー：森 直樹（医療法人 愛生会 くまもと温石病院 薬局）
チューター：徳永 晃己（済生会熊本病院 薬剤部）
近藤 悠希（熊本大学 大学院 生命科学研究部（薬学系）薬剤情報分析学分野）
門脇 大介（崇城大学 薬学部）
宮村 重幸（崇城大学 薬学部）

ワークショップ3 12:55~15:15（第4会場 講義棟 201教室）

重篤副作用にいち早く気付くための実践演習

～こんな時、薬剤師としてあなたはどのようにする？～

オーガナイザー：古野 喬志（大崎病院東京ハートセンター 薬剤部）
尾関 理恵（東京理科大学 薬学部 薬学科）
ファシリテーター：木村 聡子（国保小見川総合病院 薬剤科）
杉山 奈津子（国際医療福祉大学 薬学部）
長澤 宏之（医療法人社団 誠馨会 セコメディック病院 薬剤部）

第2日目 7月28日（日）

ランチョンセミナー4 11:45~12:45 (第2会場 講義棟 101教室)

**LS4 安定した病院運営のための医薬品採用の考え方
～抗菌薬、バイオシミラーの選択とフォーミュラリーの実践～**

座長：佐藤 邦義（順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部）

演者：小池 博文（横浜市立大学付属病院 薬剤部）

共催：日本イーライリリー株式会社

ランチョンセミナー5 11:45~12:45 (第3会場 講義棟 102教室)

LS5 最新のCOPD治療

座長：原田 紀宏（順天堂大学 医学部 呼吸器内科学講座）

三谷 明久（東京大学 保健・健康推進本部 内科）

基調講演：呼吸器疾患における吸入指導・連携の重要性

演者：三谷 明久（東京大学 保健・健康推進本部 内科）

特別講演：COPD治療の新たな幕開け～トリプル治療の可能性を紐解く～

演者：原田 紀宏（順天堂大学 医学部 呼吸器内科学講座）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

ランチョンセミナー6 11:45~12:45 (第5会場 講義棟 202教室)

LS6 がん免疫療法における免疫関連有害事象～その機序とマネジメント～

座長：荒川 隆太郎（順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部）

演者：北野 滋久（国立がん研究センター中央病院 先端医療科）

共催：中外製薬株式会社

一般演題（ポスター）

第1日目 7月27日（土） 15：15～16：00 ※奇数番号

第2日目 7月28日（日） 15：30～16：15 ※偶数番号

座長 7月27日（土）

石井 直子（公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院）

蒲原 毅（横浜市立大学附属センター病院 皮膚科）

今給黎 修（福岡大学筑紫病院 薬剤部）

鈴木 映二（東北医科薬科大学 精神科学）

稲葉健二郎（社会福祉法人ワゲン福祉会 総合相模更生病院）

7月28日（日）

佐藤 光利（明治薬科大学 医薬品安全性研究室）

塩川 満（聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院）

齊藤 幹央（新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学研究室）

大林 恭子（高崎健康福祉大学 薬学部 臨床薬学研究室）

中村 智徳（慶應義塾大学 薬学部 医療薬学・社会連携センター）

症例検討（有害事例、回避事例、等） ポスター会場（図書館棟 3F ホワイエ）

- P-01** 注射用抗菌薬の併用によってPT-INRの高度上昇を来したワルファリン投与例
土井 啓員（東邦大学医療センター佐倉病院）
- P-02** メロペネムとピペラシリンの交差アレルギー発現が考えられた1症例
横山 靖法（八尾徳洲会総合病院 薬剤部）
- P-03** 中等度腎機能障害にも関わらずアマンタジン中毒を起こした症例
内海 美穂（東北医科薬科大学病院 薬剤部）
- P-04** ブコロームがグリメピリドによる薬剤性低血糖を誘発した1症例
立石 裕樹（福岡徳洲会病院 薬剤部）
- P-05** S-1による細胞障害性間質性肺炎の1例
大瀧 翔太（新津医療センター病院 薬剤部）
- P-06** ビカルタミドによると考えられる Restless legs 症候群（RLS）の1症例の検討
大島 啓一（株式会社アインファーマシーズ アイン薬局宮前店）
- P-07** アルブミン懸濁型パクリタキセル注射剤による末梢神経障害の増悪を投与時間の延長で回避できた1例
松尾 宏一（福岡大学筑紫病院 薬剤部）
- P-08** 慢性腎不全患者でバイアスピリン・イグザレルト併用により消化管出血を生じた1例
清水 順子（一般社団法人 ファーマメイトにじ・おおさか サニー薬局）
- P-09** DBd療法においてステロイド減量が気管支喘息発作を誘発した一例
福田 大介（医療法人恒仁会 新潟南病院）

第1日目 7月27日(土) 15:15~16:00 ※奇数番号
第2日目 7月28日(日) 15:30~16:15 ※偶数番号

- P-10 抗精神病薬によると考えられるアカシジア出現の一例の検討
小手川 愛 (株式会社アインファーマシーズ アイン薬局総持寺店)
- P-11 CapeOX療法により抗利尿ホルモン分泌不適合症候群を発症した1例
内山 将伸 (福岡大学筑紫病院)
- P-12 カルバマゼピンによると思われる低ナトリウム血症の1症例
栗原 梢 (菊川市立総合病院)
- P-13 Cibenzolineによりショック肝を発現した冠動脈バイパス術後心房細動の1症例
後藤 美和 (福岡大学筑紫病院)
- P-14 急性咽頭浮腫に対する薬剤師としてのアプローチ
山本 浩二郎 (八尾徳洲会総合病院)
- P-15 カルボプラチン脱感作療法後にアナフィラキシーを来した1症例 (出現までの対応と考察)
上田 夏瑞 (公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 薬剤部)
- P-16 CPZ/SBTによるアレルギー性薬疹の1例
俵山 悟 (医療法人社団 健進会 新津医療センター病院)
- P-17 胃全摘16年後、圧迫骨折を生じミノドロネート投与により、低Ca血症から全身衰弱に至った1症例
木村 聡子 (国保小見川総合病院 薬剤科)
- P-18 オキサリプラチンにより発症した高血圧
鈴木 貴之 (埼玉県済生会 川口総合病院 薬剤部)
- P-20 クラリスロマイシン、アゼルニジピン、コハク酸ソリフェナシンの薬物間相互作用が疑われた
高度徐脈の1例
佐古 守人 (東住吉森本病院)
-

第1日目	7月27日（土）	15：15～16：00	※奇数番号
第2日目	7月28日（日）	15：30～16：15	※偶数番号

安全対策・管理（薬局、調剤・注射、製剤、病棟、外来、等）

ポスター会場（図書館棟 3F ホワイエ）

- P-19** 電子カルテを用いた院内副作用報告の一元管理に関する実態調査
～副作用情報の収集から PMDA への報告まで～
三浦 良祐（東北医科薬科大学病院 薬剤部）
- P-21** 5-FU 誘発性口内炎に対するレバミピドの治療効果に関する検討
関川 晃生（明治薬科大学）
- P-22** 調剤場面における疑義照会の分析と対応策の検討
那須村 久恵（熊本託麻台リハビリテーション病院）
- P-23** 外来患者の問診票を活用した副作用・アレルギー情報の一元管理体制
荒木 良介（大和市立病院 薬剤科）
- P-24** ポリファーマシーへの意識とその背景の検討
～疑義照会，トレーシングレポート，お薬手帳との関連性を中心に～
滝本 大輔（株式会社アインファーマシーズ アイン薬局南アルプス店）
- P-25** 医薬品の適応外使用に対する取り組み
～インシデント減少にむけた鎮静剤の新たな使用基準の作成
加藤 さや香（藤田医科大学病院 薬剤部）
- P-26** 医薬品安全を考慮した院内疑義照会簡素化プロトコルの運用
野村 剛久（医療法人橘会 東住吉森本病院）
- P-27** 大学病院の入院患者におけるポリファーマシーの現状調査
山内 祐子（琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室）
- P-28** インシデント・アクシデント報告件数に影響する要因の変化についての検討
富岡 謙二（吉備高原医療リハビリテーションセンター 薬剤部）
- P-29** 医薬品個装ケース短側面のデザインが識別に与える影響度調査
青木 滯（東京理科大学 薬学部）
- P-30** メサペイン適正使用のためのチェックシートの作成
磯部 彩（龍ヶ崎済生会病院）
- P-31** 薬剤師による入院前外来での術前等中止薬確認業務による手術等延期回避について
林 太祐（日本医科大学付属病院 薬剤部）
-

第1日目	7月27日(土)	15:15~16:00	※奇数番号
第2日目	7月28日(日)	15:30~16:15	※偶数番号

薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究
ポスター会場（図書館棟 3F ホワイエ）

- P-32** 大阪民医連副作用委員会 2017年度の自発的副作用モニター集約のまとめ
廣田 憲威（一般社団法人 大阪ファルマプラン 本部）
- P-33** 本邦の有害事象ビッグデータを用いた $\alpha 1$ アドレナリン受容体遮断薬に関連した失神の発現時間の解析
大山 勝宏（東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター）
- P-34** 日本の医薬品副作用データベースを用いた進行性多巣性白質脳症発症例の解析
田中 博之（東邦大学 薬学部）
- P-35** 炎症性腸疾患におけるチオプリン・アロプリノール併用による有効性および有害事象の調査
原野 晴美（チクバ外科・胃腸科・肛門科病院 薬剤部）
- P-36** 大阪ファルマプラン副作用委員会 2017-2018のまとめ
藤田 真美（あおぞら薬局淡路店）
- P-37** 妊婦における硫酸マグネシウム製剤の適正使用に関する検討
広瀬 若菜（明治薬科大学・薬・医薬品安全性学）
- P-38** リトドリンの新生児低血糖発症リスクに関する検討
仲本 亮乃（明治薬科大学・薬・医薬品安全性学）
- P-39** 平塚中郡薬剤師会方式で保険薬局が収集した有害事象（AE）報告の調査
飯塚 敏美（望星薬局）
- P-40** 酸化マグネシウム製剤の副作用リスク因子に関する小児および高齢者を対象とした調査研究
山下 雄大（明治薬科大学・薬・医薬品安全性学）
- P-42** 当院での非がん性慢性疼痛におけるオピオイド鎮痛薬貼付剤の使用状況調査
澁谷 恵美子（IHI播磨病院）
-

第1日目 7月27日(土) 15:15~16:00 ※奇数番号
第2日目 7月28日(日) 15:30~16:15 ※偶数番号

**医薬品情報（医薬品管理、情報提供、医療情報システム、等）
医薬品適正使用、リスクマネジメント、RMP、市販後調査**

ポスター会場（図書館棟 3F ホワイエ）

- P-41 安全性に関連した不適切な情報提供事例の検討
～医療用医薬品の広告活動監視モニター事業報告書の解析～
薄井 健介（東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室）
- P-43 医薬品リスク管理計画書RMPの公開時期
佐藤 弘康（JA北海道厚生連 帯広厚生病院）
- P-44 ロチゴチン貼付剤再投与の安全性評価
安高 勇気（福岡大学 薬学部 実務薬剤学）
- P-45 直接作用型経口抗凝固薬処方時の腎機能指標に関する調査研究
今給黎 修（福岡大学筑紫病院）
- P-46 アルツハイマー型認知症患者におけるドネペジルとメマンチンの血清中濃度
中村 友喜（三重県立こころの医療センター）
- P-47 心房細動に対する直接作用型経口抗凝固薬の適正使用に関する検討
福江 悠香（福岡大学筑紫病院 薬剤部）
- P-48 レンバチニブによる重篤な副作用が疑われた一例
～肝膿瘍・敗血症及び急性大動脈解離を発症した事例～
佐藤 友美（市立敦賀病院 薬剤部）
- P-49 レビー小体型認知症における薬剤過敏性の実態調査と薬剤師への期待
川内 文葉（東京理科大学 薬学部）
- P-50 レビー小体型認知症の早期発見と薬剤の適正使用に、薬剤師は力を発揮できるのか？
中野 志保子（東京理科大学 薬学部）
-

第1日目	7月27日(土)	15:15~16:00	※奇数番号
第2日目	7月28日(日)	15:30~16:15	※偶数番号

要因解析 (臨床)

基礎研究 (発現機序、薬効薬理、薬物動態、等)

患者指導、特定の患者集団への投与、個別化医療

治験・臨床研究

その他

ポスター会場 (図書館棟 3F ホワイエ)

- P-51** SGLT2阻害薬が投与中止となるリスク因子の検討
持田 知志 (新潟医療生活協同組合 木戸病院 薬剤部)
- P-52** シスプラチン誘発疲労に対するグルコースの有用性とがん増殖に及ぼす影響
佐藤 遥 (東京理科大学 薬学部 疾患薬理学研究室)
- P-53** 第Xa因子阻害剤エドキサバンの腎疾患治療への応用を目指した抗酸化作用の解析
成田 勇樹 (熊本大学病院 薬剤部)
- P-54** Reactive oxygen species assay および in vitro 皮膚透過性試験を用いたキノロン系抗菌薬の光安全性評価
猪山 陽輔 (静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 薬剤学講座)
- P-55** がん患者の就労支援に向けたFN対策用電子患者日誌の活用に関する研究
一條 萌乃 (東京理科大学 薬学部)
- P-56** 筋肉質な人における最適な腎機能推算式の検討
一木 美里 (熊本大学大学院 生命科学研究部 (薬学系) 臨床薬理学分野)
- P-57** サルコペニア高齢者における腎機能推算式の予測性向上手法の探索
中谷 咲良 (熊本大学大学院 生命科学研究部 (薬学系) 臨床薬理学分野)
- P-58** BPバキュティナ®CPT™単核球分離用採血管におけるLMTの実用性
翁長 寛人 (新津医療センター病院 薬剤部)
-